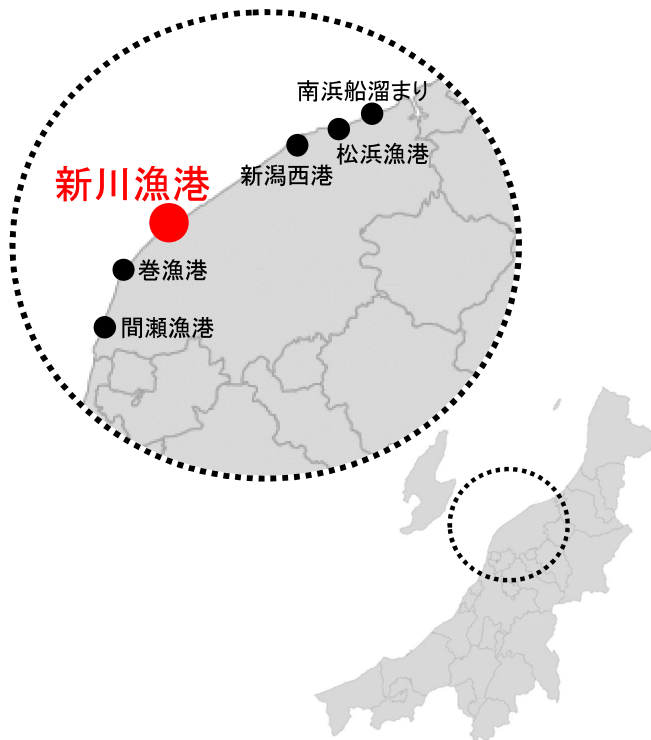


③ 新潟（新川）地区

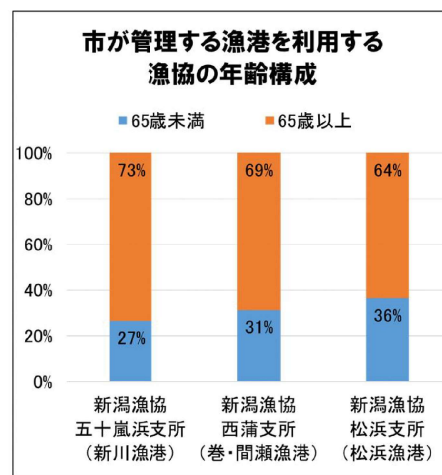
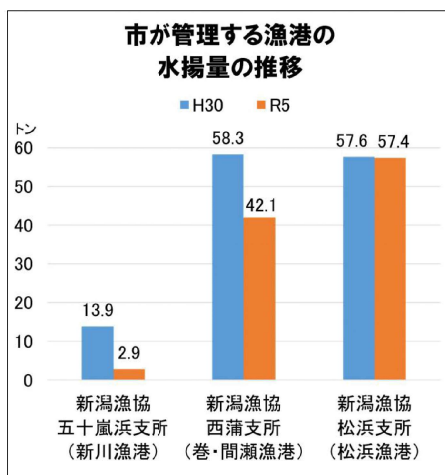
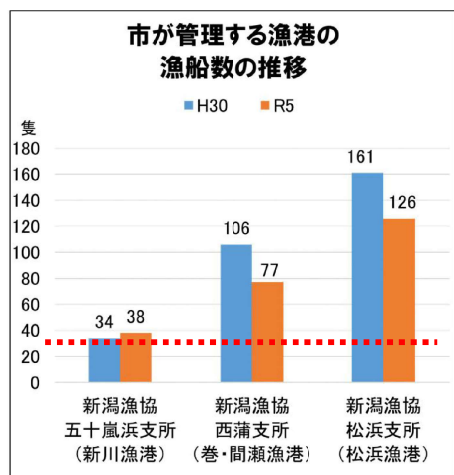
新川漁港の舫いプロジェクトの取組について



新川漁港活性化協議会
発表者 佐藤克彦

地域の現状について

【地区の水産業を取り巻く現状】



【課題】

高齢化による漁業者の減少により、**漁船数、水揚量及び金額も減少**。また、漁港の整備や維持管理に多額の経費がかかり、**将来に向けた活用方策が求められている**。

国の動き

水産業は他産業を上回る速さで高齢化等の進行によって生産人口や活力が低下していることから、国は法改正や予算措置を行い、新たな取組を支援している。

- ・地域資源と既存の漁港施設を最大限に活用した取組を根付かせて水産業と相互に補完し合う産業にするため、「**海業(うみぎょう)**」の振興を掲げている。
- ・漁港施設の有効活用ができるように「漁港漁場整備法」を改正し、**余裕が生じた施設・用地・水域を新たな生産の場や交流の場などに利活用することが可能**となる。



水産物販売施設



岸壁前に立地するレストラン



漁業体験



漁村の魅力を活かした宿泊(渚泊)



釣り体験



調理体験



新川漁港活性化協議会

	構成員名	プロジェクトにおける役割
プロジェクトチームの構成員	新潟漁業協同組合五十嵐浜支所	水産物の漁獲、漁業体験
	株式会社高井商店	水産物調理・加工・販売、漁業体験、漁港の有効活用
	一般社団法人Smile Story	
オブザーバー	新川大漁祭実行委員会	漁港の有効活用、漁業体験
	日本海ゆうひ花火実行委員会	
	新川釣友会	
	一般社団法人海と日本プロジェクトin新潟実行委員会	情報収集・発信
	内野駅前商店会	水産物の調理・加工・販売
	新潟県水産課	
	新潟県漁港課	多角的な面からの助言
新潟市西区農政商工課	海業支援	
事務局	新潟市農村整備・水産振興課	地域活動支援
		事務局

プロジェクトの方針

- ① **にぎわい・交流が生まれる漁港づくり**
家族や子どもが来たくなる場所、観光客の増加
- ② **漁港周辺と連携したまちづくり**
まちと漁業、そして農業もつなぐまちづくり
- ③ **漁業の活性化・担い手の育成**
漁業者、漁港に興味を持つ人が増える

1年目のプロジェクトの取組（令和6年度）

- ① **新川漁港活性化協議会の設立**
- ② **関係者によるワークショップの開催**
- ③ **先進地視察**
- ④ **地域住民の理解を深めるための
イベントの開催**

2年目のプロジェクトの取組（令和7年度）

① 漁業体験、漁港で遊べる コンテンツの検討

② 漁業に関する学習の検討及び モデル実施

③ アドバイザーの活用

- ・ 釣り場開放に向けたルールづくり
- ・ 水産物の認知度・付加価値向上

漁業体験、漁港で遊べるコンテンツの検討



令和7年7月19日(土)夏休み地引網体験

地引網＋漁港での遊び(SUP体験、釣り体験、パドラーボートほか)

漁業に関する学習の検討及びモデル実施

テーマ：西区にある新川漁港の活用や水産を

「知って・感じる・広げる」ためのアイデア提案



アドバイザーの活用

釣り場開放に向けたルールづくり

新しいアイデアで、釣り場問題を根本解決

目指したのはデジタル技術を用いた「プチ海釣り公園」。従来発想とは異なる新しいアイデアで、釣り場問題の根本を解決しました。



1. アプリと条例整備の合せ技

釣人を漁港利用者の一員に

釣人は無料、漁業者や地元のみ負担を負う仕組みが元凶でした。本来漁港は業務利用時は費用が発生します。今回、アプリを用いることで、釣人は時間に応じた利用料を拠出し、資源管理や設備維持に貢献できる仕組みを構築。条例も改正し堂々と釣りができる世界を作りました。



2. 港の機能を維持

漁港機能を失わない解決策

従来の「海釣り施設化」は釣り専用区を設定し、ゲートや柵の設置が伴うものでした。しかしながら釣り専用区域の合意がまず困難で、施工により、荷揚げができる・出入り自由等の漁港機能が損なわれます。海釣りGOでは、釣りエリアをプレート貼付とGPSで管理。岸壁の用途変更にも柔軟に対応します。



3. 地域経済への貢献

釣りを地方創生・海業振興へ

現地の案内や美化活動など人でなくては出来ない部分を現場巡視員が担い、決済や受付をソフトウェアが担うメリハリあるシステムが海釣りGOの強みです。巡視は漁港施設の継続的な美化が実現するだけでなく、地元雇用も創出。巡視員と釣人のコミュニケーションは地域紹介につながり、観光の窓口となります。

アドバイザーの活用

釣り場開放に向けたルールづくり

海釣りGOの導入がもたらすもの

釣り場に関わる不平等を解消し、持続可能な釣り場を作り出します。



UMIGO

アドバイザーの活用

水産物の認知度・付加価値向上



ぼうずコンニャク

1.7万 フォロワー・11 フォロワー中

消費者の立場から発信する、ぼうずコンニャク・市場魚貝類図鑑の作成・改訂の報告とともに、ミニエッセイ・おさかな365以上日記も紹介。製作者、藤原昌高は多様な生物を食べることこそが地球を守ると考えている。

ぼうずコンニャク
10月5日

昨日は一日、新潟市西区五十嵐、新川漁港、五十嵐漁港の漁師さんとボランティア、新潟市とともに新川漁港そば、五十嵐浜でわいわい生き物を追いかけて遊びました。

たくさんの生き物と出合えた。楽しすぎて夢中になって遊んだので、少しは勉強になったかは疑問ですが、とても楽しかったことは間違いなしだと思っています。

それにしても子供に遊んでもらっている大人を見るのは新鮮です。

そして今日から通常運転となります。

市場魚貝類図鑑へ

<https://www.zukan-bouz.com/>

#五十嵐漁協 #五十嵐浜 #越後新川
#生き物 #フジノハナガイ #キンセンガニ



プロジェクトの今後の展開

(1) 持続的な取組の実現

県補助→国補助活用(～R8まで)→自走

(2) 収益性の向上

ビジネスモデルの確立

(3) シビックプライドの醸成

市民に開かれた漁港

(4) 漁業の活性化

水揚量・金額及び新たな担い手の増加